

## 平成 25 年度第 7 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 25 年 7 月 2 日（火）9:00～9:45
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題 1 少子化対策の推進について

- 服部子どもの育ち推進課長（資料 1 に基づき説明）

少子化対策の必要性、本県の取り組む少子化対策、少子化対策の推進体制について説明。

#### ☆石垣副知事

これは平成 26 年度の重要政策になると思う。各部においては総合行政として、しっかりと取り組んで欲しい。

#### ☆鈴木知事

7 月 8, 9 日に愛媛県で開催される全国知事会においても、平成 26 年度の政策提言で、いの一の項目となっており、提言内容のボリュームも大きい部分を占めている。

平成 26 年度の国の予算編成も少子化対策を中心に大きく変わってくると思う。

これまで少子化対策に関して、どこがやるかはっきりしていなかった。

これから、子ども・家庭局が少子化対策の担当部局となって進めていくこととなるが、各部に大きく関わってくることなので本部体制により進めていくこととした。各部におかれても当事者意識をもって取り組んでほしい。

（「三重県少子化対策総合推進本部」の設置について了承）

### 議題 2 コンプライアンスの推進

- 三宅総務部コンプライアンス推進監（資料 2 に基づき説明）

コンプライアンスハンドブック（指針）構成案について説明。

#### ☆加藤観光・国際局長

コンプライアンスの定義で、法令、社会規範、ルール、マナーを「法令等」としているが、マナーというと、例えば食事の作法といったイメージが強く「法令等」に含めるのに違和感がある。

- 三宅総務部コンプライアンス推進監

県民の方の信頼を得るには、法令、規則の遵守だけに限らず、県民の声で指摘されるような内容、例えば、名札の着用といったマナー的なことも守っていく必要があると考え、法令等の中に含めた。

☆水谷地域連携部長

ハンドブック表紙裏に「あなたがしようとしていることは、家族に自信を持って話せますか」とあるが、守秘義務との関係で誤解を招くことがないように表現を検討していただきたい。

- 三宅総務部コンプライアンス推進監  
検討する。

- 三宅総務部コンプライアンス推進監（資料2に基づき説明）  
コンプライアンスチェックシート及びその活用方法について説明。

☆山川雇用経済部長

資料2の6ページの業務姿勢についての記述で、仕事のやり方まで言及しているが、「こんなことをしてはいけない」といったことだけが強調されて職員に伝わると、「面倒くさいことはやめておこう」といった、やらない理由につながってしまう可能性があるので注意が必要と考える。

- 三宅総務部コンプライアンス推進監  
知事からも職員が萎縮しないような取組とするよう指示を受けているので、注意したい。

☆石垣副知事

行政は県民の信頼が第一である。チェックシートについては、職員が個人的に自分の行動や考え方について振り返ってもらい、気づきを得てもらうためのものだが、部または県庁全体としてコンプライアンスを推進していくことが重要である。確かに萎縮につながることもありえるかもしれないが、節度を持ってすることが重要で、公務員として、やってはいけないことは、やはりやってはいけない。その意味からもコンプライアンスは守っていくべきである。

議題3 知事会議等の結果について

- 笠谷政策提言・広域連携課長（資料3に基づき説明）  
知事会議等で合意された事項について、担当部局には、引き続き取り組みをお願いしたい。  
また、7月から8月にかけて知事会議が集中して開催されることから、関係部局のご協力をお願いする。

☆鈴木知事

知事会等による国への提言に関し、様々な局面をとらえて本県として注力すべき事項に対して修正意見を出すとともに、その際には、議会等での指摘や提言が実現した際の執行体制、官民の役割分担などを十分考慮するなど、担当部局において体制を組んでしっかり検討してほしい。

議題4 ICTを活用した産業活性化セミナーの開催及び推進協議会（仮称）について

●辻エネルギー政策課長（資料4に基づき説明）

国や企業などが集めたビッグデータを民間ビジネスに利用しようという動きが本格化しており、すでにいくつかの県、市町においてもビッグデータを活用した街づくりの検討などが始まっている。

三重県ではもう一步踏み込んで、自治体・企業等が保有するデータや、住民・観光客等からのリアルタイムデータ、ICT基盤・システムを活用して、県民や観光客の満足度向上、産業振興、地域活性化について議論するための産学官で構成する協議会を立ち上げる。

ICT・ビッグデータについては、さまざまな分野での活用が可能だが、今年度は遷宮があることから、まずは観光という切り口で検討を進めたい。

ぜひ協議会についてご協力をお願いするとともに、各部でもこの協議会の枠組みを活用いただきたい。

（質疑なし）

議題5 「県民の声を受けて」7月1日公表分の概要について

●山口戦略企画部長（資料5に基づき説明）

声の件数は52件、対応件数は63件となっている。主な内容では、勤務、応対等に関するものとして、県庁の北出入り口から、速いスピードで一旦停止をしてくれない職員がいるというご指摘があった。また、県庁に伺ったとき、職員の対応は良かったのに、息が大変たばこ臭く不愉快でしたという喫煙に関する課題としてのご意見をいただいている。十分留意してほしい。

県取組に対する激励、賛同として、台湾との交流、日台観光サミットについて3件いただいている。

他部局においても、内容をよく確認し、参考にしてほしい。

（質疑なし）